



中国やベトナムをはじめとする世界の情報を発信しています



組合新聞

2012年11月号

発行: 国際ビジネス情報協同組合

石原氏と橋下氏の東西同盟実現!?

石原さんはともかく、大阪人の中では橋下さん人気も低迷気味
大阪維新は少し出来る人間の烏合の衆とも言われています
だって橋下氏の基本は大阪を都にする事ですからね
それに南港への大阪庁舎の移動についてもかなりの損失
国政へ出ると言った日から大阪人は何がしたいんやって怒っています
たちあがれ日本と石原氏の連携で橋下さんも難色
40代の維新と平均年齢70代の新党
世代間のギャップは勿論のこと、無理にくつついても
根本的にお互いのしたい事は違うのだから長くは持たないだろうしね
いつまでもやらなければならない事をそっちのけに
果てしない権力闘争に力を注いでいるような政治を何時まで続けるつもりでしょうね
日本経済の再生に道筋を付け将来への責任を担うのが最大の課題なのにね

～11月号掲載内容～

- *日本経済
- *日本の政治
- *技術の流出
- *円とウォン
- *民主党政治
- *石原新党
- *尖閣列島
- *中国の政治～胡氏院政をひけるか
- *尖閣列島～魚釣島
- *中国経済
- *発表と統計
- *レアアース
- *韓国
- *タイ進出企業
- *核融合
- *尼崎事件
- *兵法

日本経済

貿易統計の速報によると中国への輸出が前年比で 14.1%落ち込みました。この理由はいうまでもなく最大の原因は尖閣列島問題に起因するものです。

日本全体の輸出額から輸入額を差引いた貿易収支は 3 ヶ月連続で赤字、上半期では 3 兆 2189 円の過去最大の赤字となっています。9 月 22 日の日銀の地域経済報告(さくらレポート)では、東北を除く全 8 地域全部が景気判断を下方修正し、日中関係では中国人観光客のキャンセル、製造業では不買運動の長期化不安や通関の遅れなどが指摘されています。

こうした中で 9 月 30 日、日銀は金融政策決定会合で国債等を買入れる基金を 11 兆円増額する追加の金融緩和策を決めました。企業に対し貸出し(国債でない)を促す貸出支援基金を新設し、貸出を増やした分を無制限に供給するのです。政府・日銀の協調をアピールするために、また早期のデフレ脱却のために「一体となって最大限の努力をする」と明記しました。政府と日銀で共同の文書を作るのも初めてです。

さて、市場はどう反応したか、1 ドル 80 円以上を望んでいましたが、結果は期待が持てないと円高に振れ 79 円 80 銭と株式市場も値下がりしました。2 ヶ月連続で金融緩和を行いましたがいずれも小さなばら撒きです。企業に貸し出す資金が無制限でと決定しましたが、これとてパフォーマンスで有効な手立てではありません。その理由は市場に余剰の資金が嫌という程あり銀行が貸し出す企業が見つからないのです。この原因は言わずと知れた円高であり企業の利益が求められないからです。市場はこの会議前に期待感で 1 ドル 80 円を超えました(円の値下がり)、しかし決定後あと戻りです。

企業、市場が希望しているのが円安に振れることです。政府や日銀は円高にどのように対処するのか全く見ません、これが問題なのです。対ドルをどの位まで持っていく、円高市場介入を無制限に行う、あるいは外国債券を買うなど、はっきりと意思を見せることが必要です。

さてこれから日本の先行きはどうなるのかを推測してみましょう。

- ① 日中間の尖閣列島は決して短期に終わらない
- ② 中国での日系製造業が益々難しくなる
- ③ 貿易収支は益々悪くなる
- ④ 日銀は金融緩和せざるを得ない
- ⑤ 円安の転換点になるかどうかは別として、暫くは円安傾向が続くだろう
- ⑥ 輸出の相手先が中国より他の国(主に東南アジア)に移る
- ⑦ 世界の投資マネーは中国から東南アジアにシフトする

このシナリオは中国の政権交代で如何にあるかを見極めないと間違いないと言えませんが、まず間違いないでしょう。

かつてない貿易赤字は日本の足元にも不安は広がっているのです。

日本の政治

なんと馬鹿ではないですか?

法務大臣に暴力団と関係する代議士を選ぶとは…法務大臣が法で一番強い権限「指揮権」が発動できるのに!!

指揮権とは、検察庁に対して指揮命令出来る権限を持つ(制限有)という強大な権力なのです。この権力をこんな法務大臣に与えるとは馬鹿げた話です。

当たり前の事を言っておいて約束を守らない人や、平気で人を騙す事を「野田る(ノダル)」と言うそうです。

読者の皆さんは今の政治を言わなくても分かっているでしょうが、政治家って一体何をしているのでしょうか？ 野田総理は「消費税引き上げに政治生命を懸ける」なんて言っていましたよね、民主党のマニフェストには消費税は上げないと選挙前は確かに野田総理も言っています。どっちが本当ですか？ 政治生命を懸けてマニフェスト違反するのでしょうか？ この国の政治はどこがおかしい、早く総選挙をして国民にその審判を仰ぐべきではないのでしょうか？ 批判するのも嫌になってきます。

10月29日に臨時国会が開会しましたが、野田首相は解散時期を明示せず**年内解散**を求める自民・公明党は反発、民主党の過半数割れまで後6人、民主党政権の浮沈をかけた国会、結末は如何に？ いずれにしても政権末期の症状ですね。

馬鹿な政権には馬鹿な政務官がいるもの、親が馬鹿なら子も馬鹿の類、尖閣列島をめぐる鷲尾英一郎元政務官が10月9日に「尖閣諸島は中国政府が所有しても良い」と発言しました。一体何を考えているのか？ あんたは何処の国の人ですか？ 売国奴か？ まともな教育は受けたのか？ 色々な批判が出ています。

この御仁、東京大学経済学部を出て公認会計士、北陸ブロック選出し民主党青年部次長、市民の党(北朝鮮と関連が深いといわれ左翼とも言われている)と関連があります。頭が良くて考え方が間違っていますが、失言ではなく確信犯ですね。

技術の流出

多くの最先端の製鉄技術流出が問題となっている中で、新日鉄住金が韓国ポスコと個人を訴えました。企業は雇用している技術者に製造ノウハウなどの技術の根幹部分を持ち出され退職後に他者へ売り渡すことを恐れています。勿論これは「不正競争防止法」に違反する行為ですが、退職者の行動まで企業が把握するのは非常に難しいです。また、立証には高い壁が立ち上がるのです。

経済産業省が今年7月に約1万社を対象に行ったアンケートでは、役員にライバル企業への転職を禁止する契約をしている企業は、社外秘の技術が多い製造業の大企業で24.5%にすぎませんでした。しかし、設計図や書類に資料、コンピューターなどが持ち出されるのならともかく、技術者の頭の中に入っているものまでは対策のしようがないのが実態なのです。

また、訴訟を起こしたところで最先端技術の開発スピードが速く、判決が出る頃には陳腐化している事が多いです。これだけでなく雑貨におけるデザインやアイデアなどの真似をする企業が後を絶たないのも企業にとって頭の痛い問題です。

円・ウォン

昨今の日本経済の低迷が円高にあることはご承知の通りです。それ故にデフレや海外進出等あらゆる方策を企業が講じています。電機の低迷をシャープの今年3月の発表を見ても当期純利益1.384億円の赤字、パナソニックやサンヨー、自動車とて同じく苦境に立たされています。

韓国との競争の劣勢の原因は技術移転(技術を盗まれた)の上に、一番の原因は円高ウォン安です。円高により日本に大きなハンディを負わされてきました。10月に入り1ドル80円台まで円が下落し、やっと東の間の安堵感が漂いました。韓国では舞台裏でこれに慌てふためいていることでしょう。韓国通過当局の高防衛ラインは「10ドル1100ウォン」とされていることは間違いのない事実です。

日本企業は円高が一服して韓国との間では反転攻勢に出るチャンスとの見方もありますが、そうはいかないのではないのでしょうか？ その理由は、韓国という国はウォン売り介入を躊躇わない、その上介入の有無を一切公表しないからです。小規模な介入は日常的に行っているのですが…。

それでは、韓国が出来て日本が何故出来ないのか、円高に苦しみ倒産まで追い詰められた大企業をはじめ多くの企業があるのに…日本の為替介入時には欧米の了解を得なければならないとし苦労しています。ところが韓国というウォンが国際通貨と認められていないのをいい事に為替介入を行っているのです。その理由は世界のウォンの取引量が1%未満であるからです。人為的な相場変動があっても世界経済に深刻な影響を与えない可能性が高いという事らしいのです。介入に欧米の了解を得る…この間に日本企業が無くなってしまいます。外交というか交渉下手の政府、日銀…誰が可愛いのか。もう少しだけでも日本の置かれている経済状況を考えたらどうだ!! 今やサムスンがトヨタ自動車を上回る実力を持っています。ウォン安を享受しようと日本は日産をはじめ多くの企業が韓国に進出、或いは進出しようとしています。既に日本の韓国に対する直接投資は本年1月から9月までで33億4千万ドル(約2640億円)に達しています。これでは日本は益々空洞化が止まりません。

なぜ円安政策を躊躇するのか、円高を日本政府は発信しないのか、ここに来て米財務局やIMF等による韓国に対する批判が上がり始めています。それにしても、今まで政府や日銀は黙って無策で見ているとは大馬鹿者、エピルーダメモリを潰したものあなた達だよ! 少しだけ円安にしたからって満足するんじゃないよ!!

民主党政治

政府が400億円の緊急経済対策をする閣議が決定されました。焼け石に水で日本経済は中国の対日制裁、景気減速、欧州の債務危機で景気後退懸念が台頭しています。政府の月例報告では3ヶ月連続で景気判断を下方修正し、日銀も東北を除く景況感を引き下げました。日本の景気は正に「失速直前」です。こんな中で小出しのばら撒き政策をして何の意味があろうと言うのでしょうか、景気に対し無策との批判をかわす為の格好をつけるだけではないのでしょうか？

石原新党

石原氏は9月25日、東京都都知事を辞め新党を結成すると発表しました。主張の主な点は下記の通りです。

- ① 日本を実質的に牛耳っているのは中央官僚の独善
- ② 憲法は占領軍が一方的に決めた醜い日本語で綴られている
- ③ 憲法は非常に歪な権力と義務のインバランス(不均等)である
- ④ 旧文部省はゆとりの教育で学力低下
- ⑤ 外務省は怖がって動かない
- ⑥ 尖閣諸島に船だまりをなぜ造らないのか

などと会見発表し、新党を作り大阪(維新)と力を合わせる。

また、現状のままでは日本はアリジゴクみたいに窒息死する、大きな形で御国に最後の御奉公をしようと思っている、このように発表記者会見を行いました。

筆者は決して右翼でも左翼でもないつもりですが、この考え方をしてみると、ごもつともで理解でき、また納得できますな～。

80歳にこんな事をさせなければならない日本って…先が思いやられるね。

尖閣列島

中国政府は尖閣諸島に中国艦艇・監視船を出し連日威嚇を続けています。9月25日には中国海洋監視船が了解を侵犯し、25日26日には領海外側の接続水域を2日間7隻の航行が確認されています。24日には排他的経済水域で事前通報とは異なる調査活動があったので、海上保安庁が中止を要求したところ「日本帰れ」と応答しています。中国側はこうした威嚇行動を常態化させ、日本を屈服させようと意図していると考えられます。

海上保安庁は30隻の巡視艦艇を集め厳重警戒をしていますが、日本の一部には「尖閣諸島の国有化で中国を怒らせ問題を起こした」という人達がいることは誠に遺憾な事です。同様な事を石原都知事も言っていますが、自分の物を自分の物だと言って一体何が悪いのか!! 尖閣諸島のみならず、日本領土や自分の物を自分で守る為にいつまでも米軍に頼るばかりでなく、早急に海上保安庁や海上自衛隊の連携を深めて沿岸を監視する部隊の創設をしなければなりません。我々日本国民は次のことを最低、心に命じておかねばなりません。

- ① 尖閣諸島問題は長期化することを覚悟しなければならない
- ② 日本国領土であることを頭に焼付けなければならない
- ③ 中国は長期にわたり威嚇してくるが、これには決して屈しない
- ④ 経済人は自社の利益より未来の為に日本領土を優先すること、譲歩するなど持つての外

中国

政治…胡氏院政をひけるか

“持続可能で調和の取れた社会発展を目指す”これが胡氏の考え方です。誰が勝者か!?

中国では自身の考え方を共産党規約に入れ“永遠の指導者”としての地位を確立されると思われれます。胡錦濤総書記は自分の考え方を“科学的発展観”と表現され党規約総則部分に明記され、憲法を数年以内に改正し同様の思想を盛り込む予定です。今回改正されれば、胡氏、毛沢東、鄧小平、江沢民と並ぶ位置づけになります。この改正には中国建国の父で毛沢東の革命思想である「毛沢東思想」を規定から外す動きがあり、これは重慶市のトップを薄熙来氏を失脚させたが、支持者が毛沢東思想を掲げ政府批判を強めているという背景もあります。しかし毛沢東の家族をはじめ保守派は毛沢東の記念活動をするなど反発を強めています。

またこれらは所謂「院政」を固めることに繋げるために党政法委員会書記に胡氏の権力の及ばない者を廃し、7人にするなど中国の権力闘争には凄まじいものがあります。胡氏が党主席を辞するものの、党軍事委員会主席の座に留まるとの観測もあります。

いずれにせよ、11月8日の党大会の結果を見れば分かってくるでしょう。

尖閣列島～魚釣島

こんな話がありますが、定かでない噂話として書いてみます。

“中国で一連の強硬な対抗策を主導しているのは、胡錦濤国家主席ではなく中国共産党の次期総書記に内定している習近平国家副主席である”

以前にも少し書きましたが、元・現指導者らが集まった8月の北戴河会議までは党指導部内では尖閣問題を穏便に処理する考えが主流でしたが、8月10日の韓国の李明博大統領による竹島上陸や日本世論で強まる中国批判などを受け状況が一変しました。「なぜ中国だけ日本に弱腰なのか」と党内から批判が上がり、保守派らが主張する「国有化断固反対」の意見が大半を占めるようになったと言われています。

現在の対日政策や尖閣国有化は胡氏の路線とは大きく異なり、元々日本国有化に対する措置で胡氏はこれまでの日本製品の不買運動や大規模な反日デモには否定的であったが、習氏はこれを容認したというものです。

中国国防省は党大会を控え総参謀長などトップに人事を交代させ、この上の人民解放の最高指導機関の党中央軍事委員会のトップを胡総書記としました。(院政を引くために)

引き換えに習氏の上述の考えを容認したのではないかという噂があります。

さて、真実はどこに…!?

中国経済

新聞紙上では中国経済の変調を扱う記事が見受けられます。如何見ても中国の政治経済に何か変化が起きていると思わざるを得ません。

2008年9月のリーマンショック以降、中国政府は4兆円の景気対策により経済の成長を支え、つい最近まで世界経済の牽引役を担ってきましたが、その効果も今年度始めに消えたのではないのでしょうか？

同時に欧州経済の低迷によって輸出が伸び悩み、経済全体が低下しました。9月に政府は1兆元の財政出動をしたにも関わらず国内の需要は落ち込んだままです。ここに何か引っ掛かるところがあります。一般には中国は経済が発展するところ政治は共産党一党支配で安定をしている国と思っている節があります。冷静に考えてみると社会状況は外部から見ているほど安定しているのでは？

- ① 中央政府の支持を忠実に実行しない地方政府がある
- ② 都市部と農村部の生活レベルに大きな格差が生じ、これが益々大きくなっている
- ③ 10年振りの政権交代とはいえ大掛かりな権力闘争がある
- ④ 経済の運営でも政権内部で亀裂が生じている

等々たくさんの変調があります。

尖閣諸島問題も実は国民の不満の向かう方向を変えさせる為なのか、ガス抜きという小さなものではなく政治の世界において“不満を外交に向けさせる”或いは“戦争を勃発させる”というように外に目を向けさせるとよくある古典的な手法であろう。

発表と統計

9月19日、中国国家统计局は7月から9月期の国民総生産(GDP)は物価の影響を引いた実質で前年同月比7.4%増えたと発表しました。政府が余裕をみて設定した7.4%を割込み減速していることは間違いありません。

中国政府の発表は信用ならない事は承知しているものの、ある研究者によると中国国内銀行の不良債権は240兆円(約12兆元)抱えているとしています。これは中国国内総生産(64兆円)の30~40%にあたります。米研究者は2010年末で地方政府の関係する投資会社(地方政府会社と言っても良い)の負債は14兆4千億元、地方政府の借入金は最大20兆1千億元(20兆円)あるとも言われています。いずれにせよ、中国経済は減速していることに間違いはなく、これは貿易に頼る不況下の欧州経済影響、内需の縮小、海外からの投資の減少が挙げられます。

中国に関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先: info@ibia.or.jp

対中投資

対中投資は中国商務省が9月19日に発表した1月から9月の直接投資額は、日本が56億2千万ドル(約4460億円)で前年度同月比17.0%増、欧米を含む対中投資額は3.8%減の835億2千万ドルです。このことから見ても欧米は中国経済の鈍化傾向を把握し、既に引き上げている最中なのです。その上、尖閣列島問題が日本のみならず欧米もリスク回避のために投資より引上げることになるでしょうし、日本は9月までは最大の投資国となっていました。この事件を契機としてタイはじめ東南アジアへシフトするであろうと考えられます。

レアアース

中国は世界のレアアース(希土類)の市場90%以上を占め、中国が戦略資源として位置づけ日本への対抗措置として輸出を制限してきました。ところが、中国からの輸出量が規制枠3万1千トンの約3分の1、今年は1万トン前後の過去10年の最低水準に落ち込んでいます。これは最大の輸出先である日本の需要が急減したことが大なのです。

レアアースの需要減は日本企業がレアアースの不要な技術、リサイクル技術の開発をしたことや調達先をオーストラリアなどに拡大し対中依存度を急速に減らしたことによるものです。販売価格は過去半年で3分の1程度に下落したケースもあると言います。

韓国

歴史は語る

日本人の意識として、ある事ない事言いたい放題の国だと考えているのではないですか？基本的に客観的事実を認めようとしない、認めたくない…歴史観にあるのではないのでしょうか？

韓国の教科書には「日本が独立を奪った、それ以前はずっと独立・主権国家であった」としています。元々朝鮮は中国歴代王朝の属国であり、日清戦争で日本が勝ち初めて「朝鮮独立」となった国です。これ以前はご存知のように朝鮮半島には高句麗・新羅・百済の三国時代があり、その後新羅と唐(中国)が手を結び中国から国王という称号を貰ったのです。それ以後ずっと中国の属国でした。(19世紀万国公法)

ところが韓国の教科書には、韓国はずっと独立国家で李氏朝鮮時代は良い暮らしをしていたと書かれています。戦後、李明博大統領はこの教科書で教育を受けた世代です。李明博大統領のいう「過去のことを忘れて未来を語ろう」なんてリップサービスもいいところで口先だけです。その証拠に「天皇陛下に謝罪」「竹島」「従軍慰安婦」、要は日本は悪いと大統領の任期の最後に存在感を示し、兄や近親者の刑事事件を逃れよう、自分に刑事事件が及ばないようにしているように思えてなりません。

国連で韓国は、慰安婦問題が解決しておらず各国に救済や予防措置、加害者処罰を求めましたが、日本はこれに対し法的解決を解決済みの民間の募金を活用し償い金を支払ったと反論しました。日本政府は何を甘いことを言っているのか、はっきり従軍慰安婦なんて無かったと何故言えないのか、これでは何時まで経っても同じ事を繰り返させられます。

韓国系アメリカ人が住む地域で「慰安婦通り」と名付けた通りまで出現しているのです。

これとて中国と同じく、韓国国民の目を外(日本)に向けさせようと必死で騒いでいるのではないのでしょうか？

中国に関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先: info@ibia.or.jp

参考)

韓国大統領が歴代政権の末期に殆どと言って良いほど刑事事件が起こっています。現在も同様に大統領の兄、議員の秘書など近親者、側近などの政府高官が逮捕されています。これをどのように解釈していいものやら読者がその理由を考えてみるのも良いかも知れません。

また、韓国経済も決して良いとは言えません。韓国 30 大財閥の負債額が 1000 兆ウォン、日本円で約 70 兆円でこれは韓国の国民総生産(GDP)に匹敵する数字です。

タイ進出企業

組合では実習生受入れについて中国やタイ、ベトナムやカンボジアの送出し機関と契約しています。最近になりタイから実習生を入れて欲しいという要望が急増しており、その理由を聞くと1番にはタイに工場を造ったからタイ人の指導者になるように養成したい、2番目は近い将来タイに進出するがそれまでに幹部候補生を養成したいというものでした。

タイに進出した大手企業の下請けであったり、既にタイに進出した企業の部品製造会社あるいはサポート会社であったりします。なぜタイなのですかとの問いには安全で良好な労働力をあげているからという事です。

キャノン、ソニーが既に進出していますがトヨタはディーゼルエンジンを倍増させる為にタイで400億円投資します。日産は300億円投資し年産の20万台規模の完成車工場を新設します。

ご承知のように中国のリスク回避のため、所謂チャイナプラスワンを考える会社や中国は怖い国、微笑みの国タイと考える会社、また中国から引上げタイに進出する会社といずれにしても製造業に適する国と見ているようです。この現象だけで観測すると中国への投資は益々細ると思われます。

禁酒日

私が現地の契約先の人とレストランに行きビールを注文すると「今日は禁酒日なのでダメです」と言われました。タイには年に何度かお酒の販売が禁止になる日があります。1年を通して禁酒される日は仏教のお祭をする日と国王・王妃の誕生日にあたる日です。選挙の前日も禁酒日ですが、飲み屋さんは勿論休業で、コンビニやスーパーではお酒を売ってくれません。旅行者はホテルのミニバーで飲酒するだけです。最もコンビニの販売は夕方5時から深夜12時までだそうです。ビールが飲みたかったのですが仕方なく諦めました。周囲を見渡すと確かに誰も飲んでいませんでした。

しかし例外もありました。どうも顔が赤い人がいるので聞いてみると、コップでなく茶碗でビール飲んでいるではありませんか。

タイの習慣

タイへ行くとまず驚くのは合掌されることです。挨拶の基本はワイ(合掌)とサワディといいます。胸の前で手を合わせ合掌する行為を「ワイ」と呼び、フォーマルな機会や不特定多数のいる場合や社会的立場の異なる人と会ったときの一種のボディランゲッジと言えます。この場合は偉い人(お坊様や国王)には頭の高さから目下に下がることによって段々に手の位置が下がります。因みに家族や友人、社員同士の親しい間ではしません。

言葉は「サワディカップ(こんにちは)」とはサンスクリット語で幸福・平安を意味します。

名前の呼び方は、友人や家族、会社の仲間や親族などの親しい間柄ではニックネームで呼び合います。普通の人も首相のような偉い人も苗字ではなく「名」で呼びます。タイ人は元々姓が

なかったからだと言われていますが、その実は呪術で本名を知られると呪われるといういわれがあるそうです。

絶対にしてはいけない事があります。それは女性が出家したお坊さんに絶対触れてはいけないのです。タイの仏教は出家主義で生涯徳を積み重ねるという選択があり、いずれも托鉢して回り布施や在家の行為によって徳を積み精神の安定を得るのです。

タイ人の中ではタンブンとは布施をする事と特に意味するようです。

核融合

核融合…この言葉を知っていますか？

安全、莫大なエネルギー、燃料は無尽蔵、あれ!?! 原発とは少し違うのかな!?!

しかし本当にそんなエエモンあるの!?!

実は大学共同利用機関法人自然科学研究機構「核融合科学研究所」という所を見学してきました。パンフレットには地球にやさしいエネルギーとは太陽光、風力、地熱そして「核融合エネルギー」と書いていました。

① 海水からエネルギーを作り出す

② CO2 を出さない

何コレ!?! 私には分からなくなりました。

私には核は怖いもの、原爆や原発を思い浮かべて一方では興味が…じっくり耳を傾けました。

そこで少しだけ核融合は何なのだという事が分かりました。それは「核融合」と「核分裂」が全く反対であることです。

核融合とは原子核同士がくっついて別の原子核になる、これを核融合と言いその時エネルギーが出ます。太陽が原子のプラズマ状態になって存在し核融合し、核融合状態が絶え間なく起こっています。プラズマ状態で飛び回る原子核や電子を重力によって引き止めています。

地球ではプラズマを引き止めるほど重力がないので、代わりに磁力を使いプラズマを 1 ヶ所に集める技術を開発しているところです、難しいナ。

原理は水素の仲間の重水素と三重水素を核融合させるとエネルギーが発生し、その時新しくヘリウムが出来るのですがその質量が減少し、減少した分がエネルギーなのです。このエネルギーは莫大なもので、海水 18 リッター(ポリタンク 1 本)から重水素約 0.6 g、核融合すると石油換算でポリタンク 25 本分のエネルギーだと…素晴らしい!!

核分裂(原子力)とは思い原子の原子核を分裂させて軽い原子を作る、その時にエネルギーが発生します。違いを分かり易く言うと…

「核融合」は合体する時にエネルギーが発生する

「核分裂」は分裂する時にエネルギーが発生する

核融合ではこの合体をさせるのにプラズマを利用するのですが、プラズマとは雷やオーロラなどです。ここで面白い実験をしてくださいました。

電子レンジの中に蛍光灯を入れ加熱すると「光」が出ます。この原理と同じですが、皆さん実験はしないで下さいね、電子レンジを壊しても知りませんので…。

中国に関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先: info@ibia.or.jp

この核融合の良いところは

- ① 二酸化炭素 (CO₂) を発生させない
- ② 東電原発のように暴走がない
- ③ 安価な資源で無尽蔵

など良いところが沢山あります。しかし良いところばかりでもなく欠点もあるのです。
欠点とは…

- ① 巨大施設が必要で莫大な費用がかかる
- ② 1 億度という高温が必要となる技術的な問題がある
- ③ 炉壁の放射化の問題を解決しなければならない
- ④ 低レベル放射性廃棄物 (30 年) が出ると予想される

安全性は先に書いたように、この炉は暴走することはなく東京電力のようなことにはなりならず、5 分以内に停止出来ます。この技術は実用化には至っておらず、この施設だけでなく色々な国で色々な方式で開発途中ですが、「百聞は一見にしかず」無料で施設内を見学出来ますので皆様も是非のぞいてみてはいかがでしょうか。

核融合科学研究所

〒509-5292

岐阜県土岐町下石町 322-6

TEL : 0572-58-2222 FAX : 0572-58-2069

URL : <http://www.nifs.ac.jp>

尼崎事件

怖いですね、この事件は 25 年前からの事件です

主犯は 64 歳の角田美代子で従犯とされるのが在日韓国人の 38 歳の男性やその取り巻きです。標的とした複数の家族を暴力で支配し、裸で外を歩かせる、居座る、ベランダの小屋に閉じ込め殴る蹴るの暴行で、死体は床下やドラム缶…あらゆる手口を使っています。

角田美代子等によって暴力的精神的に支配された被害者は、金に言うに及ばず家ごと全財産を奪われ挙句監禁され殺されていますが、これに対し警察は何をしていたのでしょうか？

被害者の親族や近隣住民は兵庫県尼崎署や香川県高松署、南署に被害相談や通報があったにも拘わらず全く対応することなく「事件でないので動けない」と繰り返し、結果的に暴力で虐待され見殺しにされました。2011 年の管轄外の大阪府警が被害者の女性の駆け込みを信じ捜査を行ったことでようやく公になりました。保険金目的で崖から転落まで強要されていた者もあり、警察は現場聞き込みすら行わず兵庫県警は主犯逮捕後も主犯宅の維持さえも行わず、今年 10 月になって初めて家宅捜索を行うが、既に証拠隠滅のため監禁小屋は撤去されていました。警察の失態が問われるところです。また、角田美代子は死刑どころの騒ぎでなく、万死に値するものです。人間こんなことが良く出来るものですね。本当に恐ろしい世の中です。

兵法～前月に引き続き兵法のお勉強、本月は「11・12・13計」です。

～第十一計 李代桃僵(りだいとうきょう) 李が桃に代わって僵れる

「李が桃に代わって僵れる」とは、「李の木が桃の木に代わって死ぬ」という意味で自分が犠牲になって他人を助けたり、他人を犠牲にして自分が助かったりすることであり、即ち局部を犠牲にして全局の勝利を勝ち取る作戦である。

～第十二計 順手牽羊(じゅんしゅけんよう) 手に順って羊を牽く

わずかな隙でも絶対に利用しなければならないし、小さな勝利でも絶対に得なければならない、わずかな隙を利用し小さな勝利を得れば全面的な勝利の機会と発端を手に入れることが出来るという作戦である。

～第十三計 打草驚蛇(だそうきょうだ) 草を打って蛇を驚かす

草を打って蛇を驚かすとは敵軍が潜んでいるところで意識的に小さな軍事行動を起こして敵軍の反応を偵察し、敵軍の陰謀や策略を暴く作戦である。敵軍の行動が疑わしい場合には徹底的に偵察してから行動を起こさなければならない。偵察を繰り返さなければ敵軍の仕掛ける罠は発見することが出来ないということ。

中国に関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先: info@ibia.or.jp